

第 14 回 古民家デイサービス YEAH YEAH YEAH

運営推進会議 報告書

事業者名 住 所	一般社団法人 TKCGroup 広島県廿日市市玖島 4340 番 1	
事業所名 住 所	古民家デイサービスセカンドハウス YEAH YEAH YEAH 広島県廿日市市玖島 4340 番 1	
開催日時	令和 8 年 2 月 2 日	
開催場所	セカンドハウス YEAH YEAH YEAH デイルーム	
参 加 者	ケアマネジャー	欠席 1 名 理由:急用
	利用者家族	1 名
	地域住民	欠席 1 名 理由:病欠
	地域包括センター	1 名
	代表理事	1 名
	管理者	1 名
	施設職員	1 名
議 題	1. 利用者状況報告 2. 活動状況報告 3. 機能訓練実施状況報告 4. 質疑応答	
利 用 者 状況報告	○利用状況 利用定員 14 名。利用者 23 名(男性 9 名、女性 14 名) 事業対象者:1 名/支援 1:2 名/支援 2:0 名 要介護 1:9 名/要介護 2:5 名/要介護 3:3 名/要介護 4:3 名/要介護 5:1 名 平均介護度 2.1 送迎状況 玖島 2 名 永原 4 名 河津原 4 名 栗栖 0 名 友田 2 名 津田 3 名 浅原 2 名 峠 6 名 男女比率 男性 39% 女性 61% 年齢比率 60 歳未満 9% 70 歳代 13% 80 歳代 48% 90 歳以上 30% 最年少 68 歳 最年長 100 歳 平均年齢 84.2 歳 平均利用回数1名/週 2.4 回 週 1 回:8 名 週 2 回:7 名 週3回:5 名 週4回:1 名 週5回:2 名 週 6 回:1 名	

活動状況 報 告	前回 R6.12.1 と R7.6.28 現在の介護度別利用登録者の比較			
		R7.6.28	R7.12.31	差
	事業対象者	2 名	1 名	-1 名
	要支援 1	3 名	2 名	-1 名
	要支援 2	0 名	0 名	0 名
	要介護 1	10 名	8 名	-2 名
	要介護 2	2 名	5 名	3 名
	要介護 3	4 名	3 名	-1 名
	要介護 4	2 名	3 名	1 名
	要介護 5	0 名	1 名	1 名
合計	23 名	23 名	0 名	
10 月までに登録者の合計が4名増加し 2 名になりましたが、11 月、12 月に4名減少。 その為、前回と登録者数の変化はありませんでした。				
曜日別の空き状況 利用登録者の増減の変化はありませんでしたが、週 5～6 回こられてい方々が利用中止 になったため土曜日以外は空きがあります。				
活動状況 報 告	2025 年 7 月～12 月の期間に実施した年間行事を報告			
	7月	星に願いを、的に当てよう！「七夕射的大会」		
	8月	YEAHYEAHYEAH 夏祭りチャレンジ みんなで楽しくお菓子をゲット♪		
	9月	祝・敬老の日！感謝を込めた秋のビンゴ大会 🎁		
	10 月	体を動かし若返ろう！ハッスル♪ハッスル♪ヤーヤーヤー運動会 ハッピーハロウィン！秋のスイーツ大収穫祭		
	11 月	ふんわり美味しいホットケーキ作り 🍰 ホットー息ティータイム ☕		
	12 月	クリスマス会「ジェスチャーゲームで笑顔に健康づくり」		
	機能訓練 実施状況	①個別機能訓練加算(要介護者のみ)		
◇平均介護度 1.81(前回)→2.05				
◇期間 令和 7 年 3 月～令和 7 年 12 月				
◇利用者の自立度構成は年間を通して大きな変化はないが全国に比べて中間層が多い				
プログラム内容の比較				
◇筋力増強訓練				
◇バランス訓練				
◇基本動作訓練				
◇歩行訓練				

機能訓練 実施状況	全国的にも筋力増強訓練や歩行訓練は多くの事業所が実施している。 当施設ではバランス訓練が全国よりも多い割合で取り入れられています。 事業所データのフィードバックとして 【要介護の方】 ◇ 生活・認知機能の尺度では ①認知・記憶面は全国よりやや低め ②コミュニケーション能力は非常に高い約 96% 「伝えたいことを会話で伝えられる」 ③服薬などの自己管理能力は特に低い 全国は 65%できているが当施設は 30% ④着替えや家電の操作など生活動作も全国より 支援が必要 前回同様、服薬支援の重要性が高く、薬を置く場所を定位置にする、日付や場所の視覚掲示など家族とともに支援が必要。またインスリン注射などの重要な薬の管理も増えており、当施設の医療度が高いことも考えられます。 一方で、説明や声掛け、本人参加型のケアやレクはある程度の理解力や会話力が高いことから有効と考えられます。
運営委員会 からの評価	ケアマネジャー様・地域包括様 ・近隣の障害者施設(パン屋さん)との交流について、高齢者にとっても社会参加や役割を持つ良い機会であり、福祉施設間の連携として非常に意義があると評価。 ・科学的なデータ分析(LIFE 等の活用)に基づき、個々のケアプランに反映させている点は、他の事業所と比較しても非常に先進的で素晴らしい。 ・小規模多機能的な良さを活かし、インスリン注射などの医療的ケアが必要な「重症度の高い利用者」を積極的に受け入れている姿勢を高く評価。 ・地域の特性(コミュニケーション能力の高さや家族の協力体制)を理解し、ケアに活かしている点に納得感がある。 ・利用者家族様 スタッフの雰囲気非常に良く、送迎時も含め丁寧な対応が徹底されている。 ・利用者が通うことで目に見えて元気になっており、スタッフの適切な刺激とケアに感謝している。 ・行事やレクリエーションの小道具の作り込みなど、細かな配慮に驚かされる。 施設職員・管理者

運営委員会 からの評価	10 年以上勤務するベテランから新人まで、役職に関わらず現場業務を助け合う風土（じゃんけんで役割を決めるなどの明るい雰囲気）があり、職員間の高い信頼関係が構築されている。 急な欠勤時なども互いにフォローし合える体制が整っており、それが利用者への安定したサービス提供と、施設の温かい雰囲気作りに繋がっている。
------------------------	---

今後の 提案・課題	科学的介護の推進と個別ケアの深化 LIFE 等のデータ分析により、当施設の利用者は全国平均と比較して「コミュニケーション能力が高い」一方で「服薬管理能力や近時記憶に課題がある」ことが明確になった。 このエビデンスに基づき、高い会話力を活かした「思い出しクイズ」などの認知機能レクリエーションを強化し、個々の課題に即した機能訓練プログラムを継続的にアップデートしていく。 地域資源を活用した社会参加の継続 近隣の障害者就労施設（パン屋）との交流は、利用者にとっての役割意識や社会参加に繋がり、非常に高い評価を得た。 今後も多世代・他職種との交流機会を積極的に創出し、「地域に開かれた古民家デイ」としての特色を伸ばしていく。 医療ニーズの高い利用者への支援体制の整備 インスリン注射や複雑な服薬管理を必要とする「重症度の高い利用者」の受け入れが増加している。 一人暮らしの利用者に対する服薬カレンダーの活用や、家族・地域包括支援センターとの密な情報共有を行い、在宅生活を維持するための医療連携体制をさらに強化する。 安定したサービス提供のための職場環境維持 現在の「互いにフォローし合える良好な職員関係」は、利用者へのケアの質に直結していることが再確認された。 行事準備等の負担が一部のスタッフに偏らないよう、効率的な準備方法を検討し、職員が心身ともに健康で、笑顔でケアに当たれる環境を継続して維持する。 利用率の調整と待機者への対応 11 月・12 月に退院や転倒等による利用中止が重なり、一時的に空きが発生している。 ケアマネジャーへの迅速な情報提供を行い、待機者や利用回数増加を希望する方へスムーズな案内ができるよう調整を進める
----------------------	--